

草津市における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 □地域未来塾 ■放課後子ども教室 □土曜日の教育支援

■目指す姿

本市では平成 10 年度から「地域協働合校推進事業」に取り組んでおり、学校・家庭・地域がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、互いに協働することにより、子どもと大人がともに学び合う地域学習社会を目指している。近年は地域課題解決型の学習に向け、子どもたちが身近な課題に主体的にかかわることで、地域社会の一員としての意識と行動力を身につけられるよう、より地域に密着した活動を進めている。

■本年度の具体的活動

(1)運営委員会

- ・業務説明会(4月 12 日) 地域協働合校推進事業の趣旨、学校運営協議会との連携推進等について
- ・統括会議(1月 28 日) 実績報告の記入について

(2)地域コーディネーター会議

- ・業務説明会(4月 17 日) 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の業務について
- ・情報交換会(7月 11 日) 1学期の事業について情報交換
- ・総括会議(2月3日) 一年の振り返り、来年度に向けての課題共有

(3)その他

- ・コミュニティ・スクールくさつ兼地域協働合校全体研修会

(2月 18 日)

内容:地域連携を核とした ESD の取組について

対象:学校運営協議会委員、地域連携担当教職員、市立小中学校PTA会長

地域学校協働活動推進員、まちづくり協議会長、市関係課職員

- ・各校、各地域の地域協働合校事業をまとめた実践事例集の発行



【 地域コーディネーター業務説明会 】

■本年度の成果

地域課題解決型の活動を目指し、地域協働合校での学びを発信して共有できるよう、各校が工夫やアイデアを生かして取組を進めた。また、情報交換会や全体研修会において地域学校協働活動推進員の交流の場を設けることにより、事例の共有を図った。今年度より各中学校にも地域学校協働活動推進員を委嘱したため、特に中学校ではより豊かな学びの機会を提供することができた。

■課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

学校と地域が目標やビジョンを共有しながら連携し、社会全体で子どもを育ていく体制を盤石にするため、活動への協力者、後継者の育成や発掘が大きな課題である。

■地域学校協働活動推進員の委嘱状況

平成 31 年4月から委嘱している。今年度は、新たに委嘱した5中学校の地域学校協働活動推進員を含め、計 34 名を委嘱している。

■域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

平成 30 年4月から市内全小中学校(計 20 校)に学校運営協議会を導入している。